

VIII 自然公園の利用のあり方と管理方針

<主要施策の取組状況>

1 登山道等の施設維持管理と協働実施

- ・登山道施設の状況を把握した上で、9路線（東海自然歩道、首都圏自然歩道、石棚山稜線、大倉尾根線、表尾根線、西丹沢山稜線、下社大山線、不動尻大山線、弘法山大山線）について登山道整備を実施し、登山道整備が進んだ。
- ・みろく山の会（大倉尾根線）、丹沢山小屋組合（二俣鍋割線・鍋割山稜線）、神奈川県自然公園指導員連絡会（下社大山線、表尾根線）と協働による登山道補修を実施し、利用者が多い登山道の定期的な維持管理を行うことができた。
- ・丹沢ボラネットによる水場の水質調査、登山環境意識調査を実施し、公園利用実態の把握を行うことができた。
- ・塔の岳の公衆便所改修工事を行ったほか、大倉尾根線にある観音茶屋の環境配慮型山岳公衆トイレの設置費に対して助成を行った。また、パークレンジャーによるトイレ紙持ち帰りキャンペーンを実施し、山でのトイレマナーの普及啓発が促進された。

2 かながわパークレンジャーや神奈川県自然公園指導員による活動

- ・パークレンジャー3名による巡視活動の実施を行うとともに、自然公園指導員による巡視活動及び登山道補修隊による活動を実施し、公園利用に関する普及啓発が促進された。

3 神奈川県立ビジターセンター等普及啓発施設の活動

- ・ビジターセンターにおいて、自然再生等に関する展示や自然教室等を実施し（ビジターセンターの維持管理を委託）、自然再生に関する普及啓発が進んだ。

4 自然公園における利用のあり方と管理方針

- ・自然環境保全センター内の自然公園の利用と管理方針の検討ワーキンググループの中で、自然公園の利用のあり方等について検討を行った。

○登山道施設維持管理等実施状況（平成26年度）

登山道整備	団体との協働による補修
9路線	3団体と協働で5路線について補修活動実施

パークレンジャーによる巡視活動実施状況



ビジターセンターにおける普及啓発イベントの実施状況



活動団体との協働による登山道補修実施状況



ボラネットによる水質調査実施状況



○自然公園の利用のあり方と管理方針に関する事業実施場所（位置情報のある事業のみ掲載）

